



国際協力機構 (JICA)  
モンゴル事務所

# 事業概要

## JICAとは

JICAは、日本の政府開発援助 (ODA)のうち、二国間援助の中核を担う開発援助機関として、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など、さまざまな支援メニューを活用し、世界の150以上の国と地域で事業を展開しています。



## モンゴルでの協力

モンゴルに対する日本の経済協力は、1977年のゴビ・カシミア工場建設に係る無償資金協力から始まります。1990年のモンゴルの民主化、市場経済化以降に協力が本格化し、これまで技術協力、有償資金協力、無償資金協力の総額は約3,284億円<sup>(※1)</sup>に達しています。また、1992年以降、ボランティア710名以上<sup>(※2)</sup>がモンゴルに派遣され、モンゴルから研修員として5,200名以上<sup>(※2)</sup>を日本での研修に受け入れるなど、これまで経済・社会インフラの整備や人材育成を通じた協力を展開してきました。日本は、今日に至るまで、一貫してモンゴルのトップドナーであり、JICAは、その中心的役割を担っています。

※1 2020年3月末時点。

※2 2021年3月末時点。

(単位:百万円)

	2016	2017	2018	2019	2020
技術協力	2,511	2,358	2,259	2,227	1,293
有償資金協力(※1)	6,570	32,000	0	0	25,000
無償資金協力(※2)	4,413	3,815	830	1,352	869
<b>合計</b>	<b>13,494</b>	<b>38,173</b>	<b>3,089</b>	<b>3,579</b>	<b>27,162</b>

※1金額は円借款及び海外投融資(貸付・出資)の承諾額の合計を計上。  
※2贈与契約(G/A)が締結された案件の供与限度額。

## 主な支援メニュー

### 技術協力

日本の技術・知識・経験を生かし開発の担い手となる人材育成や制度づくりを支援します。専門家派遣、研修員受入、技術協力プロジェクト、地球規模課題に対する科学技術協力 (SATREPS) などのメニューがあります。

事例: 社会保険実施能力強化プロジェクト、建設分野における労働安全管理能力強化プロジェクト、モンゴルにおける家畜原虫病の疫学調査と社会実装可能な診断法の開発プロジェクトなど



### 有償資金協力

円借款は、緩やかな融資条件で資金の貸し付けを行い、インフラ整備などを支援します。また、海外投融資は、民間事業を資金面で支えるものです。

事例: 新ウランバートル国際空港建設事業、ツェツィー風力発電事業、ウランバートル第4火力発電所効率化事業、工学系高等教育支援事業、財政・社会・経済改革開発政策借款など



### 無償資金協力

返済義務を課さずに資金を供与し、学校や病院など、社会・経済開発のために必要な施設の整備や資機材の調達などを支援します。

事例: ウランバートル市高架橋建設計画、ウランバートル市初等・中等教育施設整備計画、日本モンゴル教育病院建設計画、人材育成奨学計画など



### 市民参加協力

JICAは、開発途上国と日本をつなぐ懸け橋として、日本の市民による国際協力活動を促進・支援し、協働する事業を「市民参加協力」と位置づけ、ボランティア事業や草の根技術協力事業など、さまざまな取り組みを行っています。

事例: ダルハンオール県における生活習慣病に対する保健医療改善事業、養蜂振興による所得向上プロジェクトなど。教育、保健医療、障害児支援、産業人材育成分野でのJICA海外協力隊派遣



### 民間連携

中小企業海外展開支援事業や協力準備調査 (PPPインフラ事業) などを通じて、日本の民間企業が持つ優れた技術やノウハウを活用し、多様化する開発途上国の課題解決に貢献します。

事例: 分娩監視装置及び集中監視システム導入による周産期医療の質の改善のための普及実証事業、ラセッターなめし技法を活用したモンゴルレザーのブランド化に関する基礎調査





## JICAの協力戦略

JICAは、以下の3つの重点分野と8つの開発課題への取組みを協力戦略として位置づけ、事業を展開します。

1



## 健全なマクロ経済の運営とガバナンス強化

マクロ経済を安定的なものとし、持続可能な経済成長を実現するために、公共財政管理の向上を図るとともに、金融市場の強化や投資環境の改善などを通じた活力ある市場経済の推進を図ります。

2



## 環境と調和した均衡ある経済成長の実現

首都ウランバートルへの一極集中を緩和し、鉱業依存の経済構造から脱却するために、産業多角化の推進と地域開発戦略の強化を図るとともに、経済成長を支える質の高いインフラの整備と環境に優しい安全な都市の開発を図ります。

3



## インクルーシブな社会の実現

所得レベルや地域による格差(教育、保健、福祉など)を是正するために、社会の状況に適合する保健医療水準の達成や基礎的サービスサービスの質向上、障害者の社会参加・社会包摂の推進を図ります。

1



## 健全なマクロ経済の運営とガバナンス強化

### 公共財政管理の向上



整合性のとれた公共投資計画の策定支援や、歳入歳出管理に伴うガバナンスを強化することで、持続的な公共財政管理体制の構築を支援します。

事例:歳入歳出管理(徴税、国際課税、マクロ経済計画、公共投資管理など)分野への協力(技プロ)

歳入管理について、国際課税分野の人材育成や調査官の法執行能力の向上、徴税手続きの改善など、税務行政の適正かつ公正な執行に向けた取組みを継続して支援しています。また、歳出管理分野では、国家開発政策や財源に整合した公共投資プログラムを形成・管理する枠組みが構築されることを目的の公共投資計画策定能力強化に向けた取組みにも継続して支援しています。



### 活力ある市場経済の推進



経済活動の根幹となる金融市場を強化し、ビジネス環境改善などの投資環境整備を図ることで、活力ある市場経済を推進することを目指します。

事例:資本市場や公正競争環境の整備への協力(技プロ)

銀行を中心とした間接金融に資金調達方法が偏っている中、資本市場の規制・監督能力の強化を通じて市場の信頼性向上を図り、企業の新規株式公開(IPO)などの活発化に向けた社債市場の育成を支援しています。また、公正な市場競争環境の整備に向けて、競争法の改正や競争制限行為に係る競争当局の審査能力の強化を支援しています。



## 2



## 環境と調和した均衡ある経済成長の実現

## 産業多角化の推進と地域開発戦略の強化



産業多角化とこれに連動する地域開発戦略を強化することにより、中長期的観点から、モンゴルの財産である自然環境と調和した、均衡ある経済成長の実現を目指します。

**事例:** 中小企業育成・環境保全ソースステップローン事業 (円借款)

産業の多角化や環境保全に資するため、中小企業に対して長期資金を供給すると共に、仲介金融機関や中小企業に対する能力向上支援を行っています。これまで、フェーズ1、2あわせて、約700社が総額750百万円の融資を受けています。

## 成長を支える質の高いインフラの整備



「質の高いインフラ」の視点から、運輸交通・エネルギーインフラの整備及びその適切な運営・維持管理の実現に向けた支援を通して、モンゴルの更なる経済成長に貢献することを目指します。

**事例:** 新ウランバートル国際空港への協力 (円借款・技プロ)

航空需要が増加する中、首都空港の安全性・信頼性を向上するため、新空港の建設を円借款で支援しています。また、新空港の円滑な供用開始、適切な運営・維持管理のための技術協力も行っています。

## 環境に優しい安全な都市の開発



大気汚染など都市環境問題への継続した支援や、これまで支援してきた都市計画分野の法的・制度的枠組みに基づくゲル地区再開発事業実施支援、防災主流化への取り組み支援などを通して、環境に優しい安全な都市の実現に貢献することを目指します。

**事例:** ウランバートル市大気汚染対策能力強化プロジェクト (技プロ)

深刻化するウランバートル市の大気汚染の緩和を目指し、これまでフェーズ1、2において大気環境モニタリングデータの管理・精度の向上や大気汚染対策を主導する組織体制の構築などを通じて、同市の大気汚染対策にかかる能力強化を支援しました。フェーズ3においては、より実効性のある大気汚染対策の実施のために支援を継続しています。

## 3



## インクルーシブな社会の実現

## 社会の状況に適合する保健医療水準の達成



保健人材の育成強化により、経済成長に見合う質の高い医療サービスの提供とアクセスの地域間格差の是正を目指すとともに、中間層の増加に伴う疾病構造の変化を踏まえた保健システムの構築を図ることで、モンゴルの保健医療水準の向上に貢献します。

**事例:** 教育病院建設と医療従事者の能力強化への協力 (無償・技プロ)

経験が少ないまま現場に派遣される医師が多く、医療人材の質の向上が叫ばれる中、臨床実習を実施できる医科大学付属の大病院の建設を行う無償資金協力や、その病院で質の高い医療サービスを提供するとともに臨床実習を実施するための病院基盤を構築する技術協力、また医師や看護師になった後の卒後研修の改善を行う技術協力を実施しています。

## 基礎的社会サービスの質向上



均衡の取れた健全な社会の構築に向けて、基礎的社会サービス(基礎教育、社会保障など)を全ての国民が格差なく享受できるよう、サービスの質向上を目指します。

**事例:** 障害児のための教育改善プロジェクトフェーズ2 (技プロ・ボランティア)

学校現場において、インクルーシブ教育を実現するための学校制度改善、学校を取り巻く地域の仕組みづくり、教員研修の教科に取組む技術協力を実施しています。また、幼稚園や小学校等の教育機関に対して、多数のボランティアを派遣しています。

## 障害者の社会参加・社会包摂の推進



JICAはこれまで障害への理解促進やアクセシビリティ確保のための支援を行ってきました。引き続き障害者の社会参加のための支援を加速させていきます。

**事例:** 障害者就労支援制度構築プロジェクト (技プロ)

障害者がその特性を生かし就労できるよう、企業と障害者をつなぐジョブコーチの育成や企業への理解促進等のための協力を実施しています。



2020年3月の時点でウランバートル市へ派遣されたボランティアの人数

**441人**

**目印**

- プロジェクトサイト
- 都市の中心部からプロジェクトまでの距離

ウランバートル市初等・中等教育施設整備計画  
149番学校

国立博物館収蔵品保存機材整備計画

モンゴル国宮放送番組ソフト整備計画

ウランバートル市大気汚染対策能力強化プロジェクト(1)(2)(3)

中小企業育成・環境保全ツーステップローン事業(1)(2)

モンゴル日本人材開発センター

国家総合開発計画策定プロジェクト

モンゴル学校給食導入支援プロジェクト

ウランバートル市初等・中等教育施設整備計画  
53番学校

国税庁改正税法執行能力強化プロジェクト

工学系高等教育支援事業

ウランバートル市消火技術及び消防機材改善計画

資本市場規制・監督能力向上プロジェクト(1)(2)

医師及び看護師の卒後研修強化プロジェクト

太陽橋

日本モンゴル教育病院建設計画

第4火力発電所効率化事業

ウランバートル市初等・中等教育施設整備計画  
75番学校

ウランバートル市給水施設改修計画(1)

モンゴル国農業バリューチェーンマスタープロジェクト

ウランバートル市給水施設改修計画(2)

獣医師実践能力強化プロジェクト

淡水資源・自然保護計画

ウランバートル市給水施設改善計画

ウランバートル市初等・中等教育施設整備計画  
109番学校



## JICAのミッション

JICAは、開発協力大綱の下、人間の安全保障と質の高い成長を実現します。

## JICAのビジョン

### 信頼で世界をつなぐ

JICAは、人びとが明るい未来を信じ多様な可能性を追求できる、自由で平和かつ豊かな世界を追求し、パートナーと手を携えて、信頼で世界をつなぎます。

## アクション

- 1. 使命感**  
誇りと情熱をもって、使命を達成します。
- 2. 現場**  
現場に飛び込み、人びとと共に働きます。
- 3. 大局観**  
幅広い長期的な視野から戦略的に構想し行動します。
- 4. 共創**  
様々な知と資源を結集します。
- 5. 革新**  
革新的に考え、前例のないインパクトをもたらします。

## JICA MONGOLIA OFFICE

Bodi Tower 7th Floor, Sukhbaatar Square 3, Ulaanbaatar, Mongolia  
(C.P.O.Box 682, Ulaanbaatar 211213, Mongolia)

Tel: +976 11 312393, 311329

Fax: +976 11 310845

Mail: [mg\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:mg_oso_rep@jica.go.jp)

Web: [www.jica.go.jp/mongolia/index.html](http://www.jica.go.jp/mongolia/index.html)

FB: JICA Mongolia

YouTube: JICA Mongolia - YouTube

